

ピックアップ 市政情報

『防災ラジオ』の希望調査票の提出はお済みですか？

防災行政無線のデジタル化に伴い、市内全域で「280メガヘルツ防災行政情報配信システム」の整備を進めています。

このシステムで利用できる防災ラジオ(戸別受信機)について、市に住民登録のある世帯に対して6月までに希望調査を行いました。希望される世帯でまだ希望調査票を提出されていない場合は、お早め提出をお願いします。

また事業所へも配付が可能となっておりますので、ご相談ください。

※日本上空を飛来する可能性

がある、北朝鮮が発射する弾道ミサイルの情報なども受信可能となります。

希望調査票の入手方法
市ウェブサイトからダウンロードするか、生活環境課、各支所地域振興課の窓口にて配付します。

※事業所向け調査票は、二本松商工会議所・あだたら商工会の窓口でも配付しています。

弾道ミサイルの発射情報があったときの行動について

北朝鮮からの弾道ミサイルは、発射からわずか10分程度で到達する可能性があります。携帯電話やテレビ・ラジオなど、緊急情報が流れた場合は、落ち着いて直ちに身を守る行動をとってください。

①屋内にいる場合

窓から離れるか、窓の少ない部屋(トイレ・浴室等)に移動し、頭部を守る。

②車に乗っている場合

車を安全な場所に止め、近くの建物に避難する(または車内で姿勢を低くする)。

③屋外にいる場合

速やかに近くの建物に避難する。

④屋外にいて、近くに建物がない場合

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

◎問い合わせ先

生活環境課市民生活係
☎(55)5102

11月26日(日)は
市長選挙・市議会議員補
欠選挙の投票日です

12月24日の任期満了による市長選挙を、次の日程で行います。また市議会議員補欠選挙も、市長選挙と同時にを行います。

立候補予定者説明会

・市長選挙

10月30日(月)

午後1時30分

市役所3階301会議室

・市議会議員補欠選挙

10月31日(火)

午後1時30分

市役所3階301会議室

告示日 11月19日(日)

投票日 11月26日(日)

投票時間

午前7時～午後6時

投票所入場券

告示日以降、世帯ごとに郵送する予定です。

◎問い合わせ先

選挙管理委員会事務局
☎(55)5146



市内17郵便局との 災害発生時および平常時における 地域活動に関する協定を締結

市内17の郵便局との、災害発生時および平常時における地域活動に関する協定締結式が8月17日に市役所で行われ、田川弘二本松郵便局長と太田浩幸岩代郵便局長が訪れました。

この協定では、災害時にお互いが避難者リストなどの情報を相互提供するほか、郵便局側では、被災者の郵便物の料金免除などを行い、平常時には、郵便配達業務中に子どもや高齢者の異変に気付いた場合などに、市に連絡していただけるようになります。



▲協定書を交わす太田局長(左)、田川局長(中央)と新野市長

(独)住宅金融 支援機構と 相互協定を締結

協定書を交わす機構の吉永兼一東北支店長(左)と新野市長▶



定住促進支援策の一環として、地域活性化や人口減少対策を推進するための相互協力協定を、独立行政法人住宅金融支援機構と8月4日に締結しました。

この協定締結により、市が実施している『定住促進住宅取得奨励金』を活用して新築住宅を取得する方で、二本松市外から転入し、フラット35(最長35年固定金利型)を借り入れする際、返済期間の当初5年間に限り金利が年0.25%引き下げとなります。詳しくは企画財政課地方創生推進係☎(24)7120へお問い合わせください。



8月22日 二本松市優良建設工事表彰式

建設工事の適正な施工および技術の向上を図ることを目的に、優れた建設工事10件、13社について優良建設工事表彰を行いました。㊟



8月24日 二本松地場産品フェア

東京都のJR新宿駅西口広場イベントコーナーで3日間行われたフェアには約1万人が訪れ、二本松市産の野菜や日本酒などをPRしてきました。㊟

二本松を元気に。
中長の新野です。



最近の活動をお伝えします。



8月28日 安達地方市町村会 中央要望

地域医療の充実や医師の確保、待機児童の解消などについて、本宮市長、大玉村長と一緒に、厚生労働省などへ要望書を提出しました。㊟



9月1日 二本松市教育支援センター開所式

市内小中学校の不登校児童・生徒と保護者への支援や、学校復帰などに取り組む場として、教育支援センターを開所しました。㊟



9月3日 旭地区敬老会

旭ふれあいセンターで行われた敬老会には、75歳以上の方131人が出席され、米寿・喜寿のそれぞれ代表の方に記念品を贈呈させていただきました。㊟

「二本松を

元気に」

二本松市長

新野 洋

先月6日、内堀雅雄福島県知事が会長を務める県観光復興推進委員会が展開する初の『福が満開、福のしま。』ふくしま秋・冬観光キャンペーンの概要が発表されました。

二〇二〇年東京五輪・パラリンピックを見据え、新たな誘客モデルをつくりあげるとして、県全域で展開される約100企画の中から、誘客の目玉となる28の特別企画が選ばれました。

県北エリアで6件のうち、なんと二本松市の企画が5件を占めました。それは、ふくしまワイナリーフェスティバル、智恵子の生家二階の特別公開・重陽の芸術祭、二本松城跡史跡指定十周年記念企画展「よみがえる二本松城」、二本松の菊人形、EDOTRIP「菊花繚乱!徳川時代絵巻」、二本松市大山忠作美術館企画展「新規収蔵作品展」です。

申し合わせた訳ではないのですが、それぞれの所管や立場で仕掛けていることが重なった結果です。これが今の我が二本松市の強みです。

これからも市民一丸となって、ますます二本松の魅力を発信していきたいと考えています。

9月は敬老の日や長寿を祝う週間も定められ、これにちなみ市内各地で敬老会が開かれ、公務が重ならない限り多くの敬老会に出席させていただきました。毎年、生き生きとした元気な皆様のお顔を拝見できますことは大変うれしく思います。皆様のご長寿を心からお祝い申し上げますと共に、喜寿・米寿・白寿という記念すべき年を迎えられた皆様に重ねてお慶び申し上げます。

市内には百歳以上の方が、9月15日現在で37名おられます。百歳賀寿贈呈式にお伺いすると、元気に日常生活を送られている姿に接し、とてもうれしく思います。

「二本松を元気に!新5カ年プラン」の大きな柱の一つが健康寿命の延伸です。ご長寿の皆様が住み慣れた地域で、健康で生き生きと過ごされますように、各種福祉施策に取り組んでおります。

今日の日本を築き上げてきた皆様です。その豊富な経験と知恵をお借りして、各種政策に反映していかねばなりません。これからも市民の皆様と力を合わせ、さらに元気な二本松を目指してまいります。